

「豊島区学校施設等長寿命化計画」の策定について

1. 策定に至る経過

令和2年3月～令和3年9月	学校施設長寿命化計画策定委員会の開催 (計9回)
令和3年11月17日	第4回定例会議員協議会での報告
令和3年12月1日から 令和4年1月7日まで	パブリックコメント
令和4年2月21日(予定)	豊島区学校施設等長寿命化計画の公表 パブリックコメントの結果公表

2. パブリックコメントの結果

- ・実施期間：令和3年12月1日から令和4年1月7日まで
- ・周知方法：広報としま12月1日号掲載、区ホームページ掲載
- ・閲覧場所：学校施設課窓口、区民事務所、図書館、区民ひろば、
行政情報コーナー
- ・受付方法：メール5件
- ・提出意見数：24件

3. 計画案に対するご意見等と回答

番号	ご意見等の内容	回答
1	この10年間の計画の中で、実行が具体化されているのは千川中学校、要小学校のみで、そのほかの学校は検討のみである。10年後には、千登世橋中学校は、竣工後30年経つことになり、大規模改修が必要になる。多額の費用がかかる学校工事だが、地域の拠点ともなる重要な公共施設なので、計画立てて進めてほしい。	各学校の老朽化状況を踏まえながら、毎年、未来戦略推進プランなどにに基づき、改築や大規模改修等を着実に実施していきます。 本計画の実効性を高めるため、5年後を目途に見直しを行い、学校改築や長寿命化改修等の計画を更新することを想定しています。
2	10年間の朝日中学校跡地、真和中学校跡地を有効に活用してほしい。	現時点では、両跡地とも学校改築以外での利用があることから、5年後の計画見直しを目途に、仮校舎等としての活用を具体化することを想定しております。

番号	ご意見等の内容	回答
3	学校用地が狭く、小規模の学校が多いことが豊島区の学校の特徴だ。児童、生徒の増加に対応できるような確実な計画の実行をお願いしたい。	ご指摘の事項を踏まえながら、区長部局とも協議のうえ、着実な計画の実行を図ってまいります。
4	建替え、リフォーム時にメンテナンスしやすいデザインとしてほしい。デザインもシンプルなものにしないとメンテナンスがやりにくく費用がかかる。震災が起きた時、修復に手間や費用が掛かる。シンプルで耐震性があり、修理、修復などメンテナンスがやりやすいうえ、外観もクリーム系やオフホワイトなど風格があり、人から親しまれたり、好かれる建物にすべきである。	ご意見のとおり、将来的な改修や他の教室等に転用する可能性も考慮しながら、学校施設の整備を進めてまいります。また、外観についても、地域のシンボルとして相応しい、通いたくなるような建物になるよう工夫してまいります。
5	建物の内部は国産材で木装化すべき。規模が大きくなければ国産材の木造建築物にすべき。木装化した建物は落ち着き、教育環境によい影響を与える。落ち着いた美しい空間なら人々はそれを大切にしようと思う。	過去の学校改築に際しては、内装材などに一定量の国産材を使用しております。今後の学校改築においても、コスト、メンテナンス、教育環境への影響などを総合的に勘案しながら、国産材の使用を進めてまいります。
6	災害時の避難所や救援センターの機能を担うため、バリアフリーへの対応は早急に必要だと感じる。	学校改築に際しては設計時からエレベーター設置を計画するなどにより、バリアフリーを実現いたします。改修時においても、スロープの設置や段差解消など可能な範囲でのバリアフリー化を目指してまいります。
7	長寿命化で延命のために約30億円かけるより、プラス17億円かけて改築し、校舎の寿命が80年以上になる学校施設を増やすべきである。	改築工事時の仮校舎確保が可能な学校は改築を進めてまいります。仮校舎の確保が見通せない学校については、老朽化対策と設備面のレベルアップを図る長寿命化改修の実施を検討してまいります。

番号	ご意見等の内容	回答
8	障害のある方、赤ちゃん連れやペットと一緒にいる方など、体育館など大きなスペースでの避難生活が難しい場合に備えて、個室などに転用できるように教室内の備品などを全て収納できるようにすべき。	机・椅子などの大型備品の収納は困難ですが、改築する学校においては十分な収納スペースを確保するよう努めてまいります。
9	トイレや体育館の冷暖房設備、手洗いの自動水栓などは停電時でも使用できるのか心配である。	改築校については、避難スペース等として使用する体育館、保健室、1階のトイレなどは非常用発電設備により停電時も通電しますが、発電容量に制限があるため、保健室のみ冷暖房設備が使用可能です。
10	ICT教育を進めていくための基盤整備には児童・生徒全員分のタブレットを収納・充電できるように整備することが必要である。	タブレット端末については、各家庭に持ち帰って学習等に活用することが目的ですので、学校内での機器収納は想定しておりません。また、充電については、学校においても補完的に充電できる対応をしておりますが、原則として家庭での充電に協力をお願いしております。
11	学校の屋外プールは気温や天気によって大きく左右され、利用期間も限られる。温水プールを検討し、区民も利用できるようにしてほしい。	学校プールを温水プール化することで、年間を通じたプール利用が可能となりますが、初期コストが高額であり、また、維持管理費も高額になるなどの課題があります。今後、他自治体での先行事例などを踏まえながら、区民の皆様への開放も含めて、改築校での導入を検討します。
12	大規模化している学童クラブや子どもスキップについても部屋の確保が必要である。	改築する小学校については、子どもスキップの利用想定を踏まえながら、十分な面積を確保するよう努めてまいります。改築校以外の学校についても、必要に応じて校庭内に別棟を整備することなどにより対応してまいります。

番号	ご意見等の内容	回答
1 3	区立幼稚園の認定こども園化、区立保育園との分園型による認定こども園化は就学前の子どもが通う施設の選択肢が減るのではないかと心配だ。区立幼稚園と区立保育園の分園型認定こども園化は、公立園数の削減につながるので反対である。	豊島区教育委員会では、令和元年9月に発行した「豊島区教育ビジョン2019」において、区立幼稚園の認定こども園化を目指すこととしています。認定こども園は幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ施設であり、多様な保護者のニーズに応えることができる施設であると考えています。区立幼稚園の認定こども園化にあたっては、区民の皆さまのご意見をいただきながら、検討を進めていきます。
1 4	P 3 2 「現時点においては具体的な統廃合の予定はありません」、P 3 3 「池袋本町小学校と池袋中学校のように」とあるがイメージが分かりにくい。	児童生徒数が増加傾向にあるため、小・中学校の数を減らす統廃合は予定しておりませんが、施設更新のコストやスケジュールの優位性や教育面での効果などを考慮のうえ、池袋本町小学校と池袋中学校のように小・中学校の校舎を同一敷地に一体的に整備することを検討してまいります。
1 5	高南小学校の別棟建設案では、必要教室数が令和5年で15、令和6年で16、令和8年で17となっていたが、計画案の推計値では13学級のまま推移している。千登世橋中も高南小も児童・生徒数が減少傾向になっているが、推計値が正しいか見直すべきである。	長寿命化計画においては、区内全域の各校におけるバランスを確保するため、令和3年5月時点の0歳から5歳児の人口数をもとに、平均的な区立小学校への入学率を踏まえて小学校の教室数や児童数を推計しています。 一方、高南小学校の別棟建設案に関する教育委員会資料については、近隣に大規模マンションが建設されることなどを考慮して推計をしています。 なお、中学校については、6歳から11歳の人口数をもとにして上記と同じ方法で推計しています。

番号	ご意見等の内容	回答
16	高南保育園の改築中、高南小学校に新たに建てる別棟を仮園舎にする案が検討されているが、生活サイクルが違う小学生と保育園児が同じ敷地内で過ごすことは小学生にとっても、保育園児にとっても、教師・保育士にとってもストレスがかかると思う。例えば園児数が減少している区立幼稚園を高南保育園建て替えの仮園舎として活用できないか検討してほしい。	敷地内別棟を仮園舎として利用することにより、小学校と保育園の区分が可能と考えております。頂いたご意見も踏まえ、今後も学校や保育園と十分協議しながら進めてまいります。また、高南保育園の近隣に区立幼稚園などの仮園舎地として相応しい用地がないため、高南小学校内の別棟を仮園舎とすることを予定しています。
17	仮校舎を整備可能な区有地がない高田、巣鴨地区について、仮校舎確保についてどのように考えているか、具体的に考えてほしい。	中長期的な視野で、区立施設の再構築の機会などを捉えながら、仮校舎地の確保を目指してまいります。
18	長寿命化改修を実施したとしても、いずれは改築が必要となる。仮校舎を確保するための土地は、突然降ってわいてこない。計画的に確保するようにどのような計画があるのか教えてほしい。	中長期的な視野で、区立施設の再構築の機会などを捉えながら、仮校舎地の確保を目指してまいります。
19	改築に47億円かかるということだが、適正価格なのか、わかりやすく説明してほしい。	平成26年度以降（目白小学校以降）の学校改築に要した経費を平均し、約47億円という想定値を算出しています。
20	教育環境の格差について、長寿命化改修で縮小を図っているつもりだろうが、工期が長ければ長いだけ、たくさんの児童が不便な環境下に置かれることになるので、その期間が児童の発達に及ぼす影響も考えるべきである。	仮校舎を設けずに長寿命化改修を行うことを前提としております。必要教室の確保や騒音・振動を低減するなど、教育現場への影響を最小限に止めるため、長期間の工期が想定されますが、ご意見の主旨を踏まえながら、工期短縮の可能性について検討してまいります。

番号	ご意見等の内容	回答
2 1	<p>土地や財政的な観点から、当計画に賛成である。</p> <p>未改築の学校の多くは、築年数が50年程度のものが多い。望ましい耐用年数を80年程度に設定していることも踏まえ、速やかに改築や長寿命化改修などによって施設を更新していくことが必要である。</p>	<p>改築においては仮校舎の確保という制限があり、長寿命化改修についても予算確保などの課題がありますが、ご指摘のとおり、極力早期に施設更新が可能となるよう、努力してまいります。</p>
2 2	<p>仮校舎の重要性について随所に記載があるが、豊島区内でのまとまった土地の確保は難しいように思われる。よって、仮校舎が不要な長寿命化改修についても、改築校と同様に具体的な実施校を明らかにしていくべきである。</p>	<p>改築の進捗状況や児童生徒数の状況などを踏まえながら、5年後の計画見直しにあわせて、具体的な長寿命化改修実施校を明らかにする予定です。</p>
2 3	<p>改築や長寿命化改修の順番が遅れてしまう学校に対して、教育環境の充実策や老朽化対策などのフォローが必要である。</p>	<p>計画の50ページに記載のとおり、教室のICT化や教育備品の整備などのフォロー策を検討してまいります。</p>
2 4	<p>学校は、子ども達の学びの場であるとともに、災害時の避難所になるなど、地域の重要な拠点である。</p> <p>学校関係者以外にも、地域の住民に丁寧な説明をお願いしたい。</p>	<p>学校改築においては、設計前に「建て替えを考える会」を開催し、地域住民や学校関係者からのご意見を踏まえた学校づくりを行ってまいりました。今後も地域の皆さまのご意見を踏まえながら、学校施設整備を進めてまいります。</p>

4. 計画(案)の修正

なし